

入選

自然な一言

広島県 宮原中学校 3年 尾崎 遥

私が小さな親切を感じたのは、今年の6月に友達と遊びにいったときのことである。友達と呉ポートピア駅で待ち合わせをしていて、イオンモール広島府中のある、天神川駅まで行こうとしていた。ポートピア駅のホームに向かうために階段を下りていると、私たちはベビーカーを抱えて階段を上ろうとしている女の人に会った。

その女の方は、両手にかばんを持っていて、とても大変そうだった。私が大変そうだなと思って見ていると、突然私はかばんを渡された。突然のことで私は状況が理解できなかった。ぼう然と立ち尽くしたまま私は友達を見ていると、友達は女の方のところへ行き、

「ベビーカー、お持ちしますよ。」

と声をかけていた。なんのためらいもなく、困っている女の方を見てすぐその方のところへ行き、人助けをしていた。その瞬時の判断が、私にはできなかった。私は、今おりてきた階段をベビーカーを持って上がっている友達を見て、すごいと思うことしかできなかった。今考えても、(上り階段だしな、疲れるからな)と思って助けることができなかったかもしれない。その場に立ち尽くしていた私は、再び階段をおりてくる友達を見て、自分が恥ずかしくて悔しくて情けなくなった。

今までは、人助けができなくても、

(あー。できなかったな。次こそちゃんとしよう)

と思うだけだったけれど、今回は、

(私は、なぜあのとき動けなかったんだろう)

と後悔が多く残った。

私は今まで、人を助けるときには、「自分から積極的に」ではなく、「どうする？ 助ける？ 助けた方がいいよね、助けよっか。」と、友達と相談してから助けることが多かった。

しかし今回、その友達を見て、私はその子を見習おうと思った。

まずは、友達と相談してから決めるのではなく、自分から積極的に行動しようという思いを持つことをがんばりたい。そして、私の友達のように、考えるよりも前に、勝手にからだ動くような人になりたい。

今まで、人助けをしている人を見て悔しい気持ちになったことはなかった。この貴重な体験ができたことをうれしく思い、自然に人助けができる習慣を身につけたい。そして、この習慣を広め、人助けのできる呉市、もっと輪を広げ、広島県、さらに輪を広げて日本、さらに世界へも広げていきたい。思いやりの心を持ち、平和な世界を作っていきたい。